

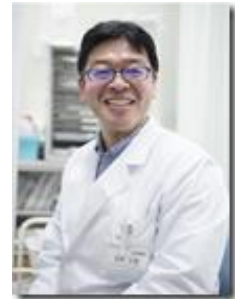
## 総合診療専門医研修施設になりました

昨年、総合診療科を新設しました。この度、日本専門医機構の総合診療専門医研修施設となりました。今号では、総合診療科を牽引する佐野正彦医師の人柄、取り組みに迫ります。

### 佐野正彦先生にインタビュー

#### Q: 医師を志したきっかけは

以前から海外で働きたい希望が強く、何かの技能がないと海外で働く道は難しいのではないかと考え、医師になりました。



#### Q: 汐田総合病院の総合診療科の魅力について

症例のバリエーションの多さは自慢できると思います。biologicalな面白さ、特に診断学のおもしろさに加え、包括的综合ケアを同時に満喫できる診療科であると考えます。あらゆる症例が来るため、新しい発見が毎日あり、知的な興奮があります。医師になった当初は業務の情性化を心配していましたが、その心配は杞憂でした。

#### Q: 汐田総合病院の総合診療科で診察してみて感じていること

高齢化、貧困化等、様々な問題が混在した複雑症例が確実に増えており、医師だけの力では解決できない部分も多くなっています。そういう点で他職種連携がかなり進んでいる当院は、私が働いてきた様々な病院のなかでも非常に働きやすい病院であると思います。

#### Q: 医師として大事にしていること

これはあまりよくないことですが、医師は院内では批判をしてくれる人がいません。このことは自分の慢心や労働風紀の劣化につながる危険があります。自分の行動を常に批判的に吟味し、他人の意見に耳を傾ける姿勢をなくしてはいけなさと肝にめいじています。

#### Q: 総合診療医となった理由・きっかけは

もともと私は診断学が好きで、いろいろな疾患をみようと考え、総合内科、家庭医学の道にはいりました。その中で神経診察のおもしろさにとりつかれて、神経内科専門医にもなりました。再度、総合診療の世界で自分の技能のブラッシュアップを行っているところです。

#### Q: プライベートで夢中になっているものがあれば

いつでも海外に飛び立てるよう、英語、中国語の技能を日々磨いています。コロナ禍となり、Webでの通信教育が整備されました。毎週、レッスンをWebで受けています。至極あたりまえのことですが、語学訓練はスポーツに近いかもしれません。

